

ボエット、ウィンデルらへのでっち上げの容疑を取り下げよ Drop the trumped-up charges against Boyette, Windel and others

新民族主義者同盟 (BAYAN)

2021年1月30日

活動家たちが、彼らを投獄することを目的としたでっち上げの容疑によって、攻撃にさらされている。昨2020年12月、ダバオ・デル・ノルテ州タグムの警察は、2018年3月22日に起こった殺人事件に関連して、フィリピンの様々な地域にいる11人をでっち上げの殺人罪で訴追した。

BAYAN のルトガルド・「ボエット」・フルカレス・ジュニアは、他の関係者と同じく、行ったこともない場所での犯していない罪、今初めて知った事件で、訴追されている。この事件では、彼には予備調査で意見を述べる権利が与えられておらず、法的手続きに関する彼の権利を侵害している。彼は逮捕令状が発行されて初めてこの事件を知った。

私たちは、ボエットがこのでっち上げの事件の虚偽の証人の主張に反論することができるかと確信している。私たちが懸念するのは、逮捕令状が発行されたことで、被告人が彼の名前や彼個人に対する攻撃をさらに受けやすくなることだ。コルディリエラ地方では、ボエットの共同被告人であるコルディリエラ人民同盟議長のウィンデル・ボリングゲットに対して、コルディリエラ警察署長による射殺命令が出されている。逮捕令状は、他の人権侵害や、非銃器や爆発物の所持といった非保釈罪の追加など不正行為を行う可能性を法的に覆い隠そうとするものである。そうしたことは、レイ・カサンプレ、マオジ・マガ、アレキサンダー・レイエスなど、他の多くの活動家が経験している。

ボエット・フルカレス・ジュニアとはどのような人物か？

ボエットは、訓練を受けたエンジニアで、社会活動家、環境保護運動家、国際主義者であり、貧しく抑圧された人々の断固たる擁護者だ。

1989年から現在に至るまで、ボエットはBAYANで様々な役割を担ってきた。現在は、BAYAN加盟団体のさまざまな大衆キャンペーンを調整する大衆闘争委員会のディレクターに選出されている。

ボエットは産業工学の理学士号を取得した。大学在学中にはSCAP（フィリピン学生カトリック行動）に参加し、教区議長やSCAP全国協議会の代表を務めた。現在フィリピン人権委員会（CHR）の議長を務めているチト・ガスコン弁護士が、当時はこの組織の全国的な指導者として活躍していた。この頃、ボエットは「人権のための憂慮する学生同盟」の結成に関わっていた。

1981年に卒業した後、ボエットは「正義と平和のためのエキュメニカル運動」に参加した。1982年には、スリランカで開催された国際カトリック学生運動（IMCS）の汎アジア総会にフィリピン代表として参加し、IMCSのアジア書記およびアジア・チームの責任者に選出された。汎アジア総会の直後には、カナダのモントリオールで開催されたIMCSの連邦間総会にアジアからの代表者の一人として参加した。

ボエットは、IMCSのアジア調整委員会のための3年間香港でを拠点に活動した。香港にいた時も、彼はフィリピン学生運動やフィリピンの闘争のための連帯活動を行っていた。

香港での活動後、ボエットはフィリピンに戻った。1986年に「正義・自由・民主主義のための民族主義者同盟」(NAJFD)に参加し、研究・文書・出版部局に配属された。その後、同組織の副事務局長に選出された。

反米軍基地キャンペーンの最盛期、ボエットはNAJFDを代表して、比米基地協定の延長に反対する「主権あるフィリピンのためのキャンペーン」(CSP)の運営委員を務めた。彼はさらにその後、より広範な連合である条約反対運動(ATM)や、短期間だけ存在したABAKADAにNAJFDを代表して参加することになる。

ボエットはまた、NAJFDの役員として、非核フィリピン連合の結成や、後には「原子力と核兵器に反対するネットワーク」(NO NUKES)の結成にも関わった。

ボエットはその後、アオテアロア(ニュージーランド)で開催された非核・独立太平洋会議(NFIP)や、フィジーのヌバで開催された太平洋会議に参加するフィリピン代表の1人に選ばれた。

ボエットはまた、NAJFDの副事務局長を務めつつ、新民族主義者同盟(BAYAN)の国際関係委員会の3人のディレクターの1人にも選ばれた。

ボエットは1989年後半にBAYANのフルタイムの活動家になり、様々な活動を行ってきた。彼はBAYANの大衆闘争委員会のディレクターに選ばれた。彼はBAYANの全国事務局のメンバーとして、GATT-WTOに対する批判を明らかにしたEARTHと呼ばれる環境活動家の同盟の結成に尽力した。

ボエットは、バヤンの救援部門であるBALSAの役員でもある。BALSAはBAYANの関連団体の救援活動の調整役を務めている。彼は後にBAYANの加盟団体として認められることになる科学者と技術者の大衆組織であるAGHAMの創設メンバーでもある。また、米国、ヨーロッパ、アジア太平洋地域の反基地団体で構成される国際ネットワーク「Ban the Bases」(基地の閉鎖)のコーディネーターでもある。

ボエットは、マカバヤン連合(注・フィリピンの民族民主主義派のパーティーリスト政党の連合)の組織部門を担当している。

貧しい人々、周縁化された人々、抑圧された人々のために人生の大半を費やしてきたボエットは、傑出した社会活動家であり、環境保護運動家であり、国際主義者である。

原文：

<https://www.facebook.com/BAYANPhilippines/posts/231716435103158>